

LPガス産業の中長期展望 (改め「LPガス産業の2025年ビジョン」)

日本LPガス団体協議会の会員団体である日本LPガス協会は2010年3月、「LPガス産業の中長期展望」を策定しました。この展望は、2030年に向けたLPガス産業の将来像を描きながら、主として元売り事業者の立場からその実現に向けた課題を整理し、6つの取組方針として取りまとめたものです。

本展望は、2011年3月の東日本大震災以降の環境変化を踏まえ、2012年3月に一部改定され、また、2014年4月の第4次エネルギー基本計画の閣議決定等を受け、2015年7月には第二回目となる改定を行いました。

その後、LPガス産業を取り巻く国内外の情勢が大きく変化したことを受けて、2018年11月に第三回目となる改定を行うに当たり、目標年を2025年に5年間前倒し、取組方針も6つから5つへ集約するとともに、LPガス産業の中長期展望から「LPガス産業の2025年ビジョン」へと名称を変更しました。

■LPガス産業の目指す姿

LPガス産業は、我が国のエネルギー政策が再生可能エネルギーなど非化石エネルギーへの傾斜を一層強め、社会の低炭素化実現を目指す中、**LPガスの特長である供給安定性及びCO₂排出原単位が低い環境特性を活かし、地球温暖化対策に貢献しつつLPガスの需要拡大を目指す。**

■2025年ビジョンのポイント

「LPガス産業の2025年ビジョン」のポイント

日本LPガス協会は、LPガスのさらなる「**安定供給確保**」に向けた供給ソースの多様化を進め、「**LPガス品質と安全の維持・確保**」を図っていくと共に、以下のポイントを重点に据え、「2025年ビジョン」の実現化に向けて取り組んで参ります。

①快適で豊かな暮らしのサポートを促進します。

エネファームを始めとする家庭用高効率機器や暮らしに役立つLPガス設備の普及促進により、快適で豊かな、潤いのある生活をサポートします。



エネファーム

②災害時における「最後の砦」として人々の暮らしを支えます

災害に強い分散型エネルギーとしての強みを活かし、GHP（ガスヒートポンプ）とLPガス発電の組合せによる学校教室、体育館等、社会の重要インフラへの冷暖房化推進によって、電源喪失時等の非常時でも人々の暮らしを支えます。



LPガス用 GHP

LPガス発電機

③環境にやさしいエネルギーとしてクリーンな社会を創造します

クリーンで環境にやさしいエネルギーとしての特性を活かし、石油系燃料等からの燃料転換に加え、IMO（国際海事機関）の環境規制強化を受けたLPG燃料船の普及に向けた取組みを、関連業界と連携して進め、地球温暖化への貢献に繋がります。



LPG燃料船

④お客様への新たなサービス提供を目指します

IoT技術の活用等を通じて国内物流の合理化を進め、FRP容器を始めとする新たなサービスを創出・提供することで、お客様から選ばれるエネルギーとなることを目指します。



次世代LPガス集中監視システム

以上の取組を通じ、**2025年の総需要量として、1,500～1,600万t**を目指します。

■取り組みの具体例

<p>取組方針 1</p>	<p>需要拡大に向け克服すべき課題と取組み</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 税制・LPガス産業育成の政策に関する対応 2. LPガスの高度利用の推進 3. IMOによる船舶燃料の環境規制強化への対応 4. 広報戦略・市場対応 
<p>取組方針 2</p>	<p>LPガスの安定供給</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. LPガスの安定供給に向けた取組み 2. LPガス備蓄の在り方 3. 国内物流の効率化（輸入基地・二次基地） 
<p>取組方針 3</p>	<p>効率的かつ強靱な物流体制の構築</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 災害対応力の強化 2. 国内物流の進化と次世代インフラの構築 
<p>取組方針 4</p>	<p>環境への取組み</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 低炭素社会実行計画の充実 2. 再生可能エネルギー利用の推進及び共生 
<p>取組方針 5</p>	<p>品質及び安全確保のための取組み</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 品質の確保 2. 安全確保に向けた取組み 